

科目名	地理学特講			担当教員	森田 匡俊
単位	2単位	講義区分	講義	ナンバリング	
期待される学修成果	基礎教養 教科教育				
アクティブ・ラーニングの要素	グループワーク				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	地理的事象を考えるための手段の一つに計量的な方法があり、それらは総称して空間分析法と呼ばれている。本講義では、①地図を含む地理情報についてとそれらの取り扱い方、②地理情報について空間分析法を適用するための基礎、③空間分析法を利用した実際の地理的事象の探求事例、以上を学ぶことを授業の到達目標およびテーマとする。				
授業の概要	まずは、地理的な考え方や、地理情報、空間分析とは何かを講義する。次いで、空間分析に必要な統計学的知識を講義する。最後に、実際の地理的事象を取り上げ空間分析法による研究法を学ぶ。 【デジタル技術利用 該当番号：①、③、④】 【教育D X指定科目】 ③科目名に関わらずデジタル技術、データサイエンス・統計学等を学ぶ科目（BYOD利用可）				

授業計画	
第1回	地理情報とは？
第2回	地理情報の操作 1 （地理院地図の基礎）
第3回	統計データのわかりやすい表現
第4回	地理情報の操作 2 （地理院地図の活用）
第5回	地理情報の操作 3 （地理院地図を活用した地域理解）
第6回	代表値による地域理解 1 （中央値・最頻値・平均値・ヒストグラム）
第7回	代表値による地域理解 2 （レンジ・偏差・分散・標準偏差）
第8回	標準偏差・特化係数による地域理解
第9回	GISによる地域理解 1 （QGISによる階級区分図作成）
第10回	GISによる地域理解 2 （QGISによる属性データの操作）
第11回	GISによる地域理解 3 （空間参照系）
第12回	空間分析による地域理解 1 （オーバーレイ分析）
第13回	空間分析による地域理解 2 （相関分析）
第14回	空間分析における諸問題（MAUP，エッジエフェクトなど）
第15回	学修到達度の確認試験および解説と授業全体の総括

事前学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。
事後学修	2時間	授業時に提示する課題に取り組むこと。
フィードバックの方法	レポートや小課題の結果について、講義内で紹介しコメントする。個別の質問には随時コメントする。	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
レポート	30%	個人やグループで取り組む各回の課題の提出または発表内容に応じて評価する。
上記以外の試験・平常点評価	70%	講義全体を通じての内容理解度、および学習到達度の確認試験により評価する。

定期試験		0%		
補足事項				
教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.	適宜紹介する.
参考資料	適宜紹介する.			